

令和2年度 自己評価書・学校関係評価書

令和3年3月5日

真庭市立久世こども園

園長 桑田 幸子 印

1. 久世こども園の教育保育目標

- 健康で明るい子ども
- 友達と仲よく遊ぶ子ども
- 自分のことは自分でする子ども
- 豊かな心情をもち考える子ども
- 自分の考えを発表できる子ども

2. 本年度の重点目標（課題）

***心も体も健康でたくましく、生き生きと活動する幼児をめざして
～一人一人が遊び込める環境作りを考える～**

- 家庭との連携を深めながら生活習慣の定着を図り、心身ともに健康で安全に生活しようとする態度を育てる。
- 人とかかわることを大切にして、思いやりの気持ちや言葉で伝えあう力を育てる。
- 心や体を動かして遊べる環境の工夫に努め、自分で考え粘り強く取組む力を育てる。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価	評 価 委 員 評 価 (学校評議員評価)
教育課程・指導計画	話し合いの中で各年齢のねらいなど確認して共通理解し保育を進めることができたと思う。	3	3
行事	コロナ禍で行事の中止が多くなり残念だった。大きな行事は縮小して行う事ができ目標をしっかり持ち取り組む事ができたと思う。	3	4
組織・運営	職員が大きく変わり少ない人数での運営で大変な事が多く課題も残っている。職員間の連携は取れ共通理解して保育を行う事はできた。	3	3
学級経営	クラスの園児数が多かったり個別の支援の必要な子どもが多かったりするため担任の負担は大きくなっている。担任だけでなくみんなで丁寧に関わるように努めた。	3	3
特別支援教育	小学校や色々な機関と連携を取り援助の仕方など指導を受けることができた。引き続き連携を深めていく必要がある。	3	3
安全管理・保健指導	コロナの対応で衛生面で多くの協力や作業が増えたがみんな元気に過ごせているのでよかった。	3	4
研修（資質向上）	外部の研修会で学ぶ機会が持てず残念に思う。園で公開保育を行いみんなであそびの環境など考えて取り組み学びも多かった。	3	3
情報提供・保護者・地域との連携	地域との連携が持てなかった。保護者への発信力が弱かったように感じ今後の課題として取り組む必要を感じる。	3	3
小学校との接続・連携	よい関係が築けており必要に応じて相談等もできているので今後も話し合いをしっかりと連携していきたい。交流会も話し合いで目的を持って取り組めたのがよかった。	3	4
子育て支援	子どもの成長の様子や課題など何でも話せる関係作りをより深めていく必要がある。 子育てが楽しんでできるような支援をしていきたい。	3	3
食育の推進（給食）	楽しく食べる事を目標に進め、苦手な物が食べるようになる喜びや自信がもて食事の量が増えている。	3	3
食事の提供（調理）	栄養士がいてくれるので、調理場との連携をとり安心安全の給食提供ができたと思う。	3	3

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価	評 価 委 員 評 価 (学校評議員)
生活習慣の定着に向けて	久世地区の3回のチャレンジに家族で取り組む姿が見られ、意識付けができています。園生活の中でも個々の発達に合わせて進めるようにした。	3	3
家庭での生活について	コロナ禍で新しい生活様式を取り入れ衛生面、健康面に気を配ることができています。忙しい中でも子どもも思いを大切にしてくれている保護者が多く見られる。		

5. 本年度の重点課題及び総合的な評価結果の考察等（学校関係者評価委員総合所見含）

<p>心身ともに健康で安全に生活することができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍という特別な1年となったが、細やかな配慮をおこなった上で行事を開催する工夫ができた。新しい生活様式も子どもたちや保護者の協力で行えて園児たちが健康に過ごせたことがよかった。 ○戸外あそびなど活発に取り入れ身体の発達や意欲向上が図れている。 <p>信頼される園作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者への伝達不足が課題として考えられる。丁寧な伝え方などの工夫を考慮する必要がある。 ○職員不足ということが続いて職員の負担も増加しているので改善の必要を感じる。 ○行事への取り組み方など、どう対応していったかが評価になるので考慮して進めて欲しい。 ○保護者同士で話し合う機会など悩みを話し合えるような場所が必要と思われるので取り入れて行ってほしい。 ○情報提供のあり方なども探って行って欲しい。（うさぎメールなど） <p>人と関わる事を大切に思いやりの気持ちや言葉で伝え合う気持ちを育てていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○異年齢の関わりも持て、行事などでその姿を感じることができた。 ○保育者の資質向上を目指して取り組むことができおり、引き続き細やかな保育を目指して欲しい。

6. 評価結果・考察等（学校関係者評価委員総合評価）を受けての具体的改善方策等

<ul style="list-style-type: none"> ○保護者への伝達の仕方として、玄関前のお知らせボードを作成してわかりやすく掲示を行うようにする。また連絡ノートの実用の仕方を考えていきたい。 ○運動あそびなど各年齢に応じたあそびを継続して取り入れて、心と体の発達を促していきたい。 ○職員の連携を深め、共通理解してよりよい保育を目指して取り組んでいきたい。 ○行事において引き続き感染対策を考慮して検討を重ねて、できるだけ行える工夫をしていきたい。 ○研究テーマについて、園児の実態に合わせた計画を検討決定して、共通理解のもとに取り組むようにする。 ○小学校との接続では、細やかな連携や児童との無理のない交流や職員同士のつながりを持つことができるように努力していく。

学校評議員・園評価基準

評 価	基 準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である